



第53回 質量分析総合討論会 2005

主催 日本質量分析学会
 会期 2005年5月25日(水)～27日(金)
 会場 埼玉大宮ソニックシティ

討論主題 ^{IMIA} 次世代のMSを創る

全体講演

『近接場光学からナノ質量分析を考える』 堀 裕和(山梨大学)
 『Bio-ion/ion reactions and their application to the analysis of biopolymer mixtures』 Scott A. McLuckey (Purdue University)

特別講演

『Understanding global systems biology using spectroscopic tools and metabonomics』 Jeremy K Nicholson (Imperial College London)

シンポジウム

『次世代のイオン化法』 オーガナイザー
 『21世紀を担う装置の開発』 平岡賢三(山梨大)
 『分子を切る新しいはさみ：電子移動解離(ETD)』 石原盛男(大阪大)
 『同位体を創る，同位体を測る』 竹内孝江(奈良女子大)
 『MALDI-MSによるポリマーキャラクタリゼーション：その到達点と将来展望』 野村雅夫(東工大)
 『”危機”分析 - 科学捜査，テロ対策における質量分析』 佐藤浩昭(産総研)
 『クスの毒性を克服するために』 平林由紀子(日立製作所)
 『メタボロミクスとバイオインフォマティクス』 橋本 豊(山梨大)
 『タンパク質の質量分析—黎明から最近のプロテオミクスまで—』 田口 良(東大)
 平山和雄(味の素)

ワークショップ

『スプレーイオン化の極限を探る』 平岡賢三(山梨大)
 『デソープションイオン化の本質を究める』 高山光男(横浜市大)
 『古くて新しいイオン化法：ファンダメンタルとアプリケーション』 平岡賢三(山梨大)，高山光男(横浜市大)
 『生体サンプルを対象にしたイメージング質量分析』 内藤康秀(大阪大)

演題申込み 2005. 2. 18～3. 18 下記Web
 参加登録 2005. 2. 18～5. 10 下記Web
 プログラム 2005. 5. 1以降下記Webにて公開予定
 詳細 <http://www.mssj.jp/index-jp.html>

実行委員長 平岡賢三
 山梨大学クリーンエネルギー研究センター
 〒400-8511 山梨県甲府市武田4-3-11

大宮氷川神社新能 金春流